

海外経済展望

2009年6月



調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/thinktank/research/>

【目 次】

米国	I － (1 ～ 7)
欧州	II － (1 ～ 6)
原油価格	III － (1 ～ 2)

◆本資料は2009年 6 月 1 日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆本資料に関するご照会は、下記あてお願いいたします。

欧米経済・市場動向グループ

米国経済・金利：下田 (Tel：03-3288-4527 Mail：shimoda.yusuke@jri.co.jp)

欧州経済・金利：大竹 (Tel：03-3288-4739 Mail：otake.shigehisa@jri.co.jp)

原油動向：大竹 (Tel：03-3288-4739 Mail：otake.shigehisa@jri.co.jp)

米国経済概説（2009年6月）

1. 米国経済の現状：一部に改善の兆しも総じて悪化持続

足許の米国経済は、雇用情勢の悪化、企業の設備意欲や資金需要の減退など、悪化が持続。

一方、住宅関連指標では購入見込みDIに改善の動き。もっとも、①着工件数が統計開始以来最低まで減少したほか、②中古住宅在庫が高水準で推移するなど、本格的な底打ちには至らず。

2. トピックス

①雇用環境

4月の非農業部門雇用者数は、前月差▲53.9万人と減少幅が縮小。もっとも、雇用増となった政府部門は、国勢調査に伴う臨時雇用によるもの。これを除くと減少幅は前2ヵ月とほぼ変わらず、官民ともに雇用環境は依然厳しい状況。

4月の失業率は8.9%と、こちらも悪化に歯止めがかからず。労働省はより詳細な雇用情勢の把握のため、雇用統計で全部で6つの失業率を公表している。そのうち、①「縁辺労働者」と、②「経済情勢のためやむなくパートタイムに就いている者」も含めた広義の失業率は15.8%まで上昇。特に不本意ながらパートタイムに就いている者が足許で急増しており、米国雇用環境の深刻さがあらためてうかがえる。

景気後退長期化により、GDPギャップは、今後も需要不足が強まるとみられ、失業率も一段と上昇する見込み。

②個人消費

4月の小売売上高は前月比▲0.4%と、2ヵ月連続のマイナス。項目別では自動車が増加したものの、自動車を除く耐久消費財は同▲0.5%と、不急な消費財に対する購買意欲に改善の動きはみられず。

マクロでみた雇用者報酬を、賃金、雇用、物価の要因にそれぞれ分解したところ、足許では雇用の悪化および賃金の減少により、押し下げられている構図が顕著。①雇用については、GDPギャップマイナス幅拡大により失業率が一段と上昇するとみられ、また②賃金については、失業率上昇後、半年程度遅れて下押し圧力が高まる傾向があり、雇用者報酬は先行き減少が続く公算。

また、家計のバランスシートをみても、住宅価格が下落基調にあるなか、可処分所得比でみて過大な家計の負債は当面圧縮が不可避。

以上を勘案すると、個人消費が持続的に増加する公算は小。

③景気対策

オバマ政権は5月中旬の段階で、景気対策全体の15%弱にあたる1161億ドルを投入（利用決定）。そのうち支出は311億ドルに。大規模な景気対策は、国債発行急増や需給悪化懸念を招き、長期金利は上昇。長短金利差は03年以来の高水準に。

5月13日に政府が発表した景気対策の進捗に関するレポートをもとに、この先の景気対策に伴う歳出増加額による、金利押し上げ効果を試算したところ、09年度は465億ドルの歳出で、長短金利差は0.12%ポイント拡大することに。10年度は1355億ドルの歳出で、0.36%ポイントに拡大するとの結果。

一方4月の財政収支は、納税期限を迎えることから例年大幅黒字が一般的であるにもかかわらず、▲209億ドルと83年以来の赤字。景気後退深刻化に伴う歳入減も連邦財政の大きな収支悪化要因となりつつあり、この面からも長期金利への上昇圧力が強まる可能性。

3. 景気・金利見通し

<景気見通し：年央にかけてマイナス成長が持続>

先行きの米国経済は年央にかけてマイナス成長が持続する見込み。

個人消費は、雇用・所得環境の悪化や、家計のバランスシート調整から、持続的増加の公算は小。

一方、今後は公共事業および減税の効果が現れると期待。もっとも、①住宅市場調整の持続、②住宅価格下落による逆資産効果、③外需の低迷、④不安定な金融情勢の持続、などが重石となり、その後も極めて停滞感の強い状況が続く見込み。

<金利見通し：長期金利は上昇圧力増大の懸念>

FEDは当面、ゼロ金利政策（0.00～0.25%）と、長期国債や民間負債の買い入れ、自らのバランスシート拡大などによる信用逼迫の緩和に引き続き注力する見通し。景気の下振れや長期金利の状況によっては、一段と踏み込んだ施策に着手する可能性も。

長期金利は、大規模な景気対策に伴う財政悪化懸念のほか、英国債の格付け見直し検討を契機とした米国債格下げ懸念も加わり、上昇圧力が次第に強まっていく見通し。

企業の資金需要は減退持続、住宅市場は改善の兆しも底打ちには至らず

<09年1～3月期GDP改定>

5月29日発表の09年1～3月期実質GDP（改定値）は前期比年率▲5.7%と、速報値（同▲6.1%）から小幅上方修正。輸出や在庫投資の減少幅縮小などが寄与。

<企業部門>

4月の設備稼働率は69.1%と、1967年の統計開始以来最低水準まで低下。生産活動の縮小から、企業の設備意欲、資金需要は大きく減退。

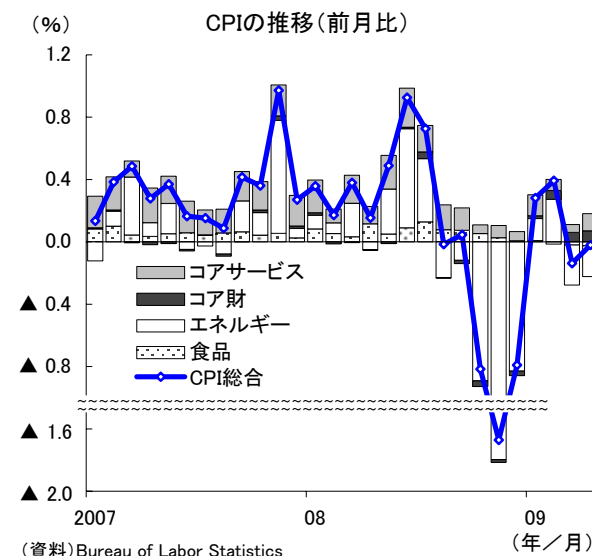
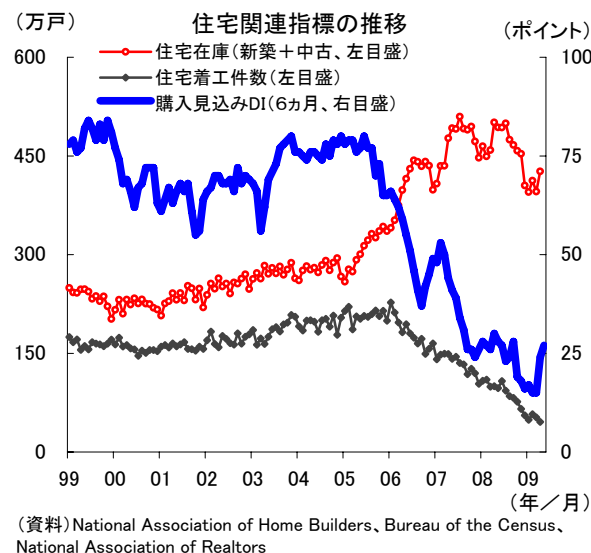
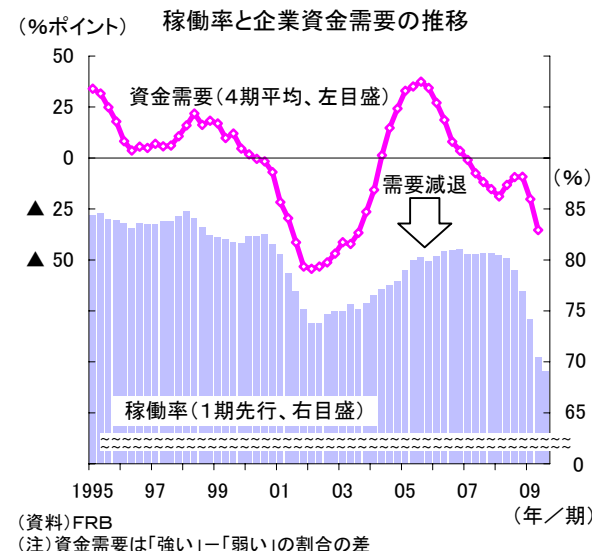
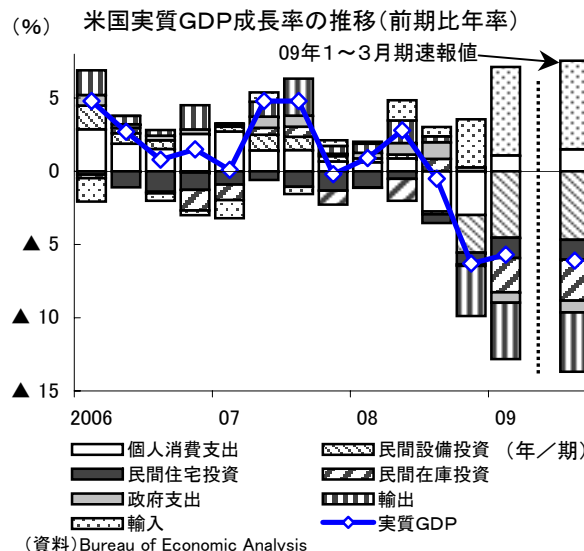
<住宅>

住宅関連指標は5月の購入見込みDIに改善の動きがみられるものの、①4月着工件数が統計開始以来最低まで減少したほか、②4月中古住宅在庫が高水準で推移するなど、本格的な底打ちにはまでは至らず。

※もっとも、足許の着工件数の落ち込みは2戸以上の集合住宅の大幅減少（前月比▲46.1%）によるもので、1戸建てに限ってみれば、2ヵ月連続で小幅プラスとなっている。

<物価>

4月のCPIは、エネルギー価格の下落を主因に前月比変わらず。一方、コアCPIは同+0.3%と伸びが小幅加速（3月は同+0.2%）。もっとも、タバコ税増税による特殊要因が上昇分のほぼ半分を占めており、デフレ懸念は残存。



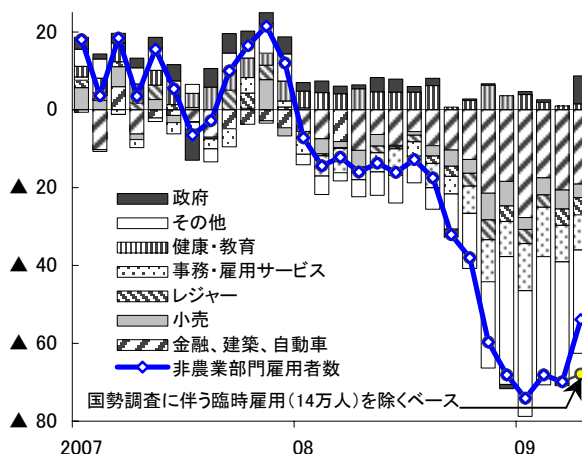
需要不足によるGDPギャップマイナス幅拡大で、失業率は一段と上昇へ

4月の非農業部門雇用者数は、前月差▲53.9万人と減少幅が縮小。もっとも、雇用増となった政府部門は、国勢調査に伴う臨時雇用（+14万人）によるもの。これを除くと減少幅は前2ヵ月とほぼ変わらず、官民ともに雇用環境は依然厳しい状況。

4月の失業率は8.9%と、こちらも悪化に歯止めがかからず。労働省はより詳細な雇用情勢の把握のため、雇用統計で全部で6つの失業率（U-1～U-6）を公表している。そのうち、①「縁辺労働者」（就業を希望しているが今の景気などを理由に適切な職がないため職探しを断念する者や、家事育児のため就業継続が困難な者）と、②「経済情勢のためやむなくパートタイムに就いている者」も含めた広義の失業率（U-6）は15.8%まで上昇。特に不本意ながらパートタイムに就いている者が足許で急増しており、米国雇用環境の深刻さがあらためてうかがえる。

景気後退長期化により、米議会予算局が公表する潜在GDPを基に算出したGDPギャップは、今後も需要不足が強まるとみられ、失業率も一段と上昇する見込み。

(万人) 非農業部門雇用者数の推移(前月差)



(資料) Bureau of Labor Statistics
(注) 小売は自動車ディーラーを除く

米国雇用統計で発表される6つの失業率

$$U-1 = \frac{\text{15週以上失業者数}}{\text{労働力人口}}$$

$$U-2 = \frac{\text{一時解雇者数} + \text{臨時雇用期間満了者数}}{\text{労働力人口}}$$

$$U-3 = \frac{\text{完全失業者数}}{\text{労働力人口}} \quad (\text{公表失業率})$$

$$U-4 = \frac{\text{完全失業者数} + \text{求職意欲喪失者数}}{\text{労働力人口} + \text{求職意欲喪失者数}}$$

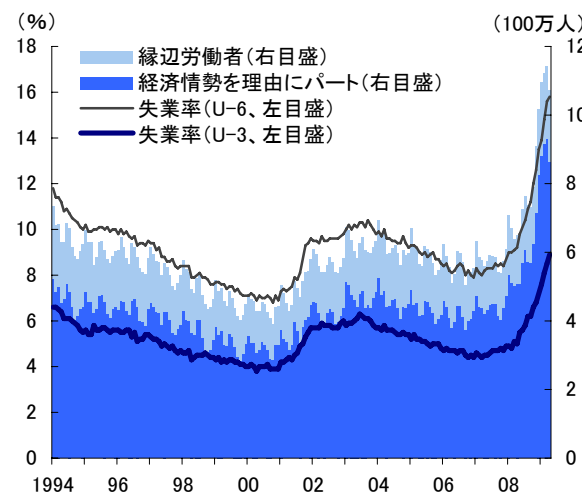
$$U-5 = \frac{\text{完全失業者数} + \text{縁辺労働者数}}{\text{労働力人口} + \text{縁辺労働者数}}$$

$$U-6 = \frac{\text{完全失業者数} + \text{縁辺労働者数} + \text{パートタイム職数 (経済情勢が理由)}}{\text{労働力人口} + \text{縁辺労働者数}}$$

(資料) Bureau of Labor Statistics

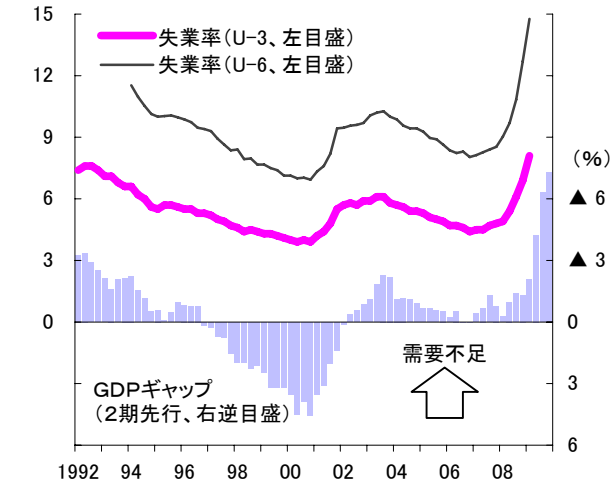
(注) 縁辺労働者: 就業を希望するものの、今の景気などを理由に適切な職がないため、職探しを断念した者(求職意欲喪失者)のほか、家事育児のため就業継続が困難な者

タイプ別失業率と特殊失業者・就業者の推移



(資料) Bureau of Labor Statistics

タイプ別失業率とGDPギャップの推移



(資料) Congressional Budget Office, Bureau of Labor Statistics (年/期)

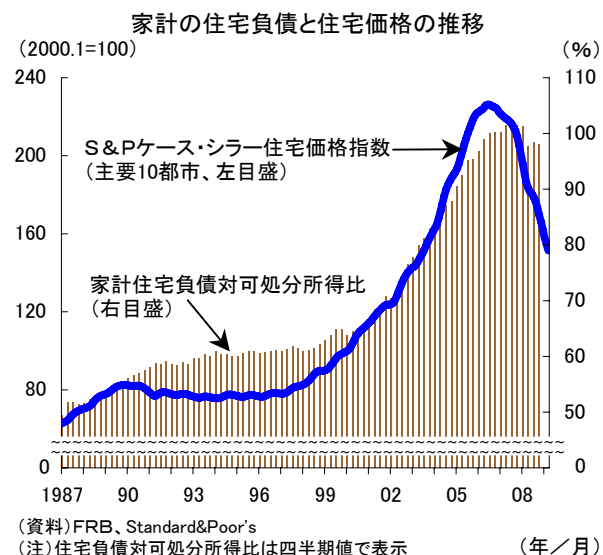
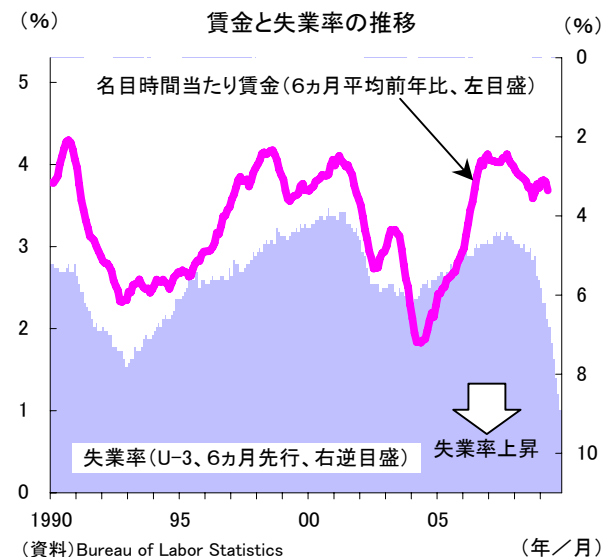
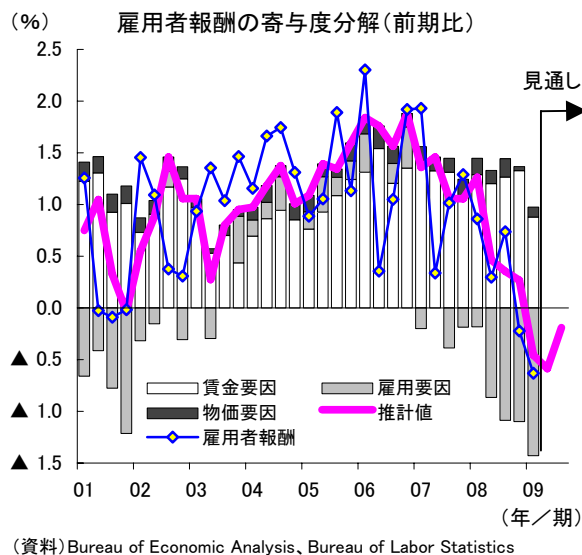
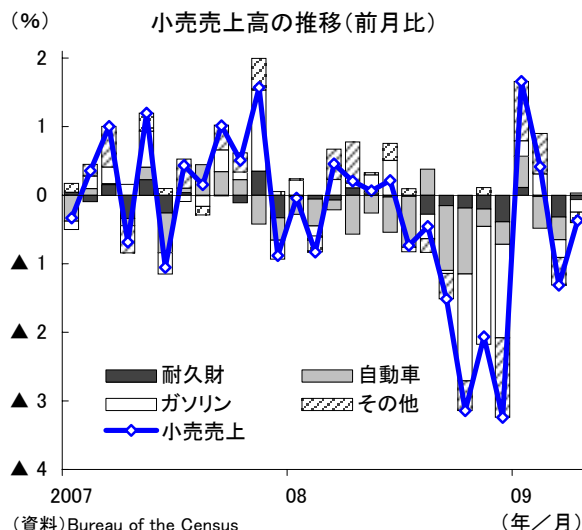
雇用悪化と賃金減少が雇用者報酬の下押し圧力に

4月の小売売上高は前月比▲0.4%と、2ヵ月連続のマイナス。項目別では自動車と同+2.0%と、2ヵ月ぶりに増加したものの、家電や家具をはじめとした、自動車を除く耐久消費財は同▲0.5%と、不急な消費財に対する購買意欲に改善の動きはみられず。

マクロでみた雇用者報酬を、賃金、雇用、物価の要因にそれぞれ分解したところ、足許では雇用の悪化および賃金の減少により、押し下げられている構図が顕著。①雇用については、先述したGDPギャップマイナス幅拡大により失業率が一段と上昇するとみられ、また②賃金については、失業率上昇後、半年程度遅れて下押し圧力が高まる傾向があり、雇用者報酬は先行き減少が続く公算。

また、家計のバランスシートをみても、住宅価格が下落基調にあるなか、可処分所得比でみて過大な家計の負債は当面圧縮が不可避。

以上を勘案すると、個人消費が持続的に増加する公算は小。



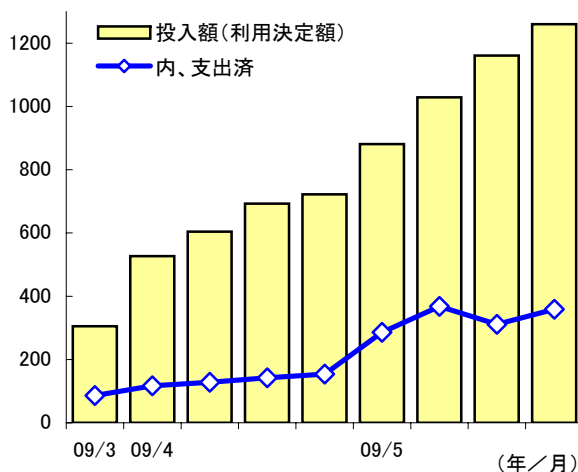
嵩む歳出と景気後退による歳入減で、高まる長期金利上昇圧力

オバマ政権は5月中旬の段階で、景気対策全体の15%弱にあたる1161億ドルを投入（利用決定）。そのうち支出は311億ドルに。大規模な景気対策は、国債発行急増や需給悪化懸念を招き、長期金利は上昇。長短金利差（10年国債利回り－2年国債利回り）は03年以来の高水準に。

5月13日に政府が発表した景気対策の進捗に関するレポートをもとに、この先の景気対策に伴う歳出増加額による、金利押し上げ効果を試算したところ、09年度は465億ドルの歳出（州財政支援などを除く主にインフラ投資への支出）で、長短金利差は0.12%ポイント拡大すること。10年度は1355億ドルの歳出で、0.36%ポイントに拡大するとの結果。

一方4月の財政収支は、納税期限を迎えることから例年大幅黒字が一般的であるにもかかわらず、▲209億ドルと83年以来の赤字。景気後退深刻化に伴う歳入減も連邦財政の大きな収支悪化要因となりつつあり、この面からも長期金利への上昇圧力が強まる可能性。

(億ドル) 景気対策の進捗状況



(資料) RECOVERY.GOV

(注) 5月第3週の支出減少は労働省の支出訂正(▲89億ドル)の影響

歳出増に伴う長短金利差上昇の影響

景気対策に伴う歳出増加額	長短金利差 押し上げ幅
09年度／約465億ドル	0.12%
10年度／約1355億ドル	0.36%

(資料) Department of The Treasury, ISM, RECOVERY.GOVを基に日本総研作成

(注)

1. 推計式は以下の通り

$$\begin{aligned} \text{長短金利差} &= 0.78 + 0.26 \times \text{ISM製造業景況指数} \\ &\quad (t\text{値}) \quad (5.32) \quad (4.46) \\ &\quad - 0.37 \times \text{財政赤字対名目GDP比} \\ &\quad \quad \quad (-7.06) \end{aligned}$$

推計期間: 91/Q1～09/Q1, R²=0.5257

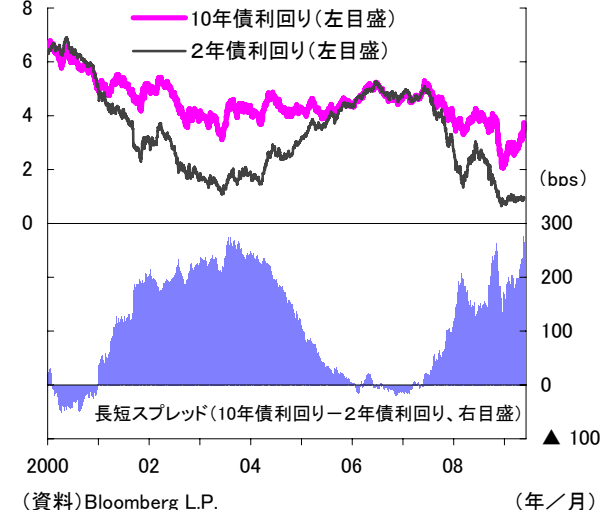
2. 州財政支援などを除くインフラ投資などへの歳出に伴う押し上げ影響のみを考慮。

3. 歳出増加額→09年度: 約1200億ドル、10年度: 約3500億ドル(減税除くベース)に、インフラ投資などへの支出割合(38.7%)を各年に等しくかけて算出

4. ISM製造業景況指数は3四半期後方移動平均

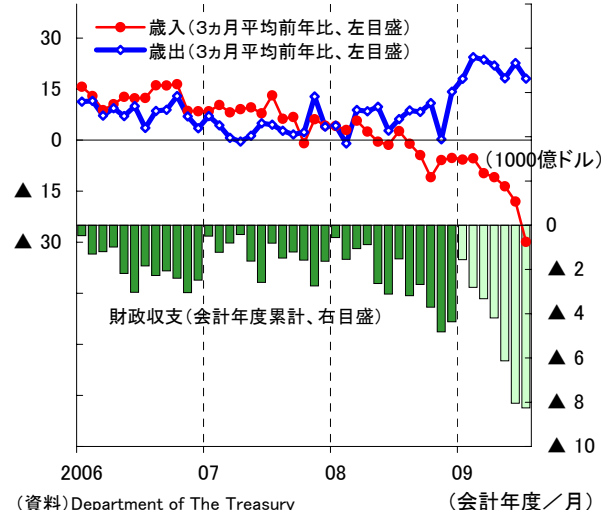
5. 財政赤字は4四半期累計値

(%) 長短スプレッドの推移



(資料) Bloomberg L.P.

(%) 財政収支の推移



(資料) Department of The Treasury

年央にかけてマイナス成長が持続。長期金利は上昇圧力増大の懸念

<景気見通し>

先行きの米国経済は、年央にかけてマイナス成長が持続する見込み。

個人消費は、雇用・所得環境の悪化や、家計のバランスシート調整から、持続的増加の公算は小。

一方、今後は公共事業および減税の効果が現れると期待。もともと、①住宅市場調整の持続、②住宅価格下落による逆資産効果、③外需の低迷、④不安定な金融情勢の持続、などが重石となり、その後も極めて停滞感の強い状況が続く見込み。

<金利見通し>

FEDは当面、ゼロ金利政策（0.00～0.25％）と、長期国債や民間負債の買い入れ、自らのバランスシート拡大などによる信用逼迫の緩和に引き続き注力する見通し。景気の下振れや長期金利の状況によっては、一段と踏み込んだ施策に着手する可能性も。

長期金利は、大規模な景気対策に伴う財政悪化懸念のほか、英国債の格付け見直し検討を契機とした米国債価格下げ懸念も加わり、上昇圧力が次第に強まっていく見通し。

米国経済成長・物価見通し

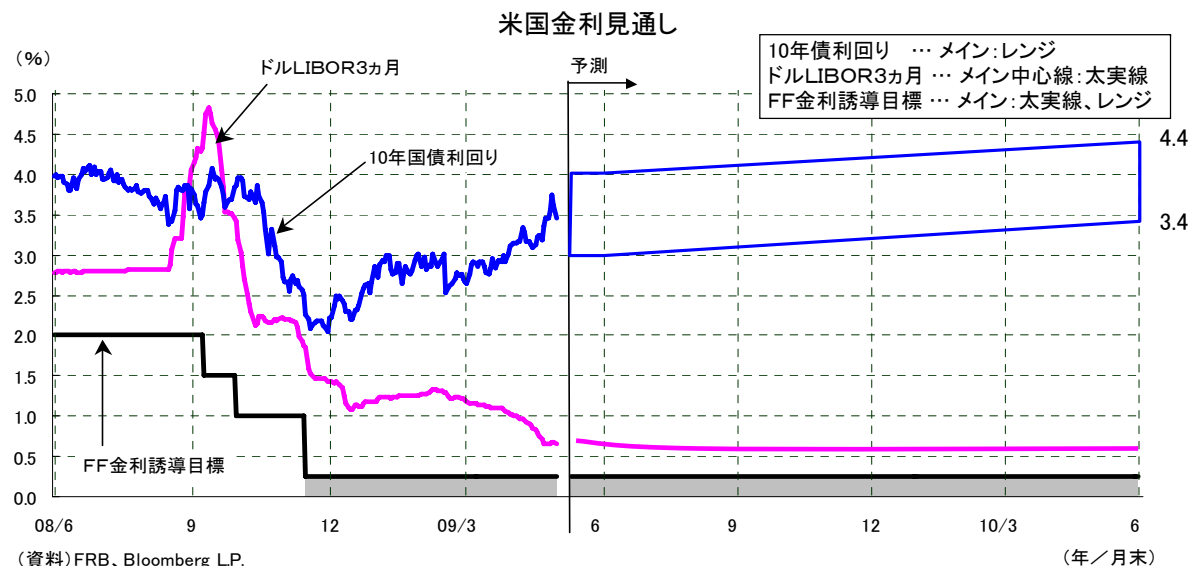
（四半期は季調済前期比年率、％、％ポイント）

		2008年			2009年				2010年		
		7～9	10～12	(実績)	1～3	4～6	7～9	10～12	(予測)	1～3	4～6
実質GDP		▲ 0.5	▲ 6.3	1.1	▲ 5.7	▲ 2.0	0.8	0.9	▲ 2.8	▲ 0.1	▲ 0.2
個人消費		▲ 3.8	▲ 4.3	0.2	1.5	▲ 1.3	0.3	0.1	▲ 1.1	0.1	0.2
住宅投資		▲ 16.0	▲ 22.8	▲ 20.8	▲ 38.7	▲ 13.5	▲ 7.8	▲ 3.4	▲ 21.5	▲ 2.4	▲ 0.5
設備投資		▲ 1.7	▲ 21.7	1.6	▲ 36.9	▲ 13.1	▲ 6.1	▲ 4.9	▲ 18.1	▲ 2.8	▲ 1.8
在庫投資		0.8	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 2.3	0.1	0.0	▲ 0.2	▲ 0.5	0.0	0.1
政府支出		5.8	1.3	2.9	▲ 3.5	3.3	6.1	9.8	2.3	1.3	▲ 0.6
純輸出		1.1	▲ 0.2	1.4	2.2	0.5	0.2	▲ 0.1	0.9	▲ 0.1	▲ 0.0
輸出		3.0	▲ 23.6	6.2	▲ 28.7	▲ 5.2	▲ 4.5	▲ 4.2	▲ 13.3	▲ 3.4	▲ 0.8
輸入		▲ 3.5	▲ 17.5	▲ 3.5	▲ 34.1	▲ 7.7	▲ 5.0	▲ 2.4	▲ 15.8	▲ 2.2	▲ 0.5
実質最終需要		▲ 1.5	▲ 6.7	1.4	▲ 3.7	▲ 1.6	0.6	1.1	▲ 2.3	▲ 0.1	▲ 0.2
消費者物価		5.3	1.6	3.8	▲ 0.0	▲ 1.5	▲ 2.4	0.8	▲ 0.8	1.7	1.4
除く食料・エネルギー		2.5	2.0	2.3	1.7	1.9	1.4	1.6	1.7	1.4	0.9
						予測					

予測

（資料）Bureau of Economic Analysis, Bureau of Labor Statistics

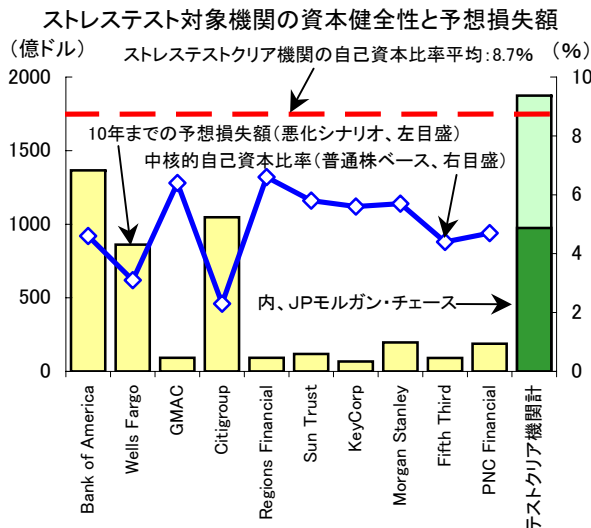
（注）在庫投資、純輸出の年間値は前年比寄与度、四半期値は前期比年率寄与度。消費者物価は前年（同期）比。



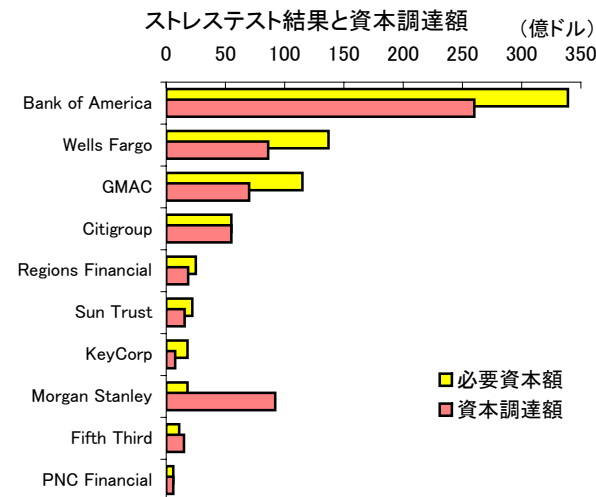
ストレステスト不合格の金融機関10社は市場での資本調達に向け奔走

FEDは5月7日、大手金融機関19社に対するストレステストの結果を公表。景気が一段と悪化した場合に想定される損失額（10年末まで）は約6000億ドルになると予測。テストの結果、資本増強が必要と判断された金融機関は10社、計746億ドルで、対象機関は市場での資本調達に向け奔走。もっとも、必要額に対して十分な資本を調達できたのはモルガン・スタンレーなど一部の金融機関にとどまっており、19社中最大の必要資本を指摘されたバンク・オブ・アメリカは、5月27日時点でその4分の1弱を調達できていない状況。一方、今回のテストをクリアした9社は揃って公的資金返還を表明。米金融機関は資本面で2極化が強まっており、今後の金融不安再燃の火種となる恐れも。

一方、5月20日には最新の米国経済見通しを発表。09年の実質GDP成長率（10～12月期前年比）は中心レンジを、▲2.0～▲1.3%と、前回（1月）から下方修正。生産活動や雇用の落ち込みが想定以上だったことを反映。家計部門などで底入れの兆しがみられ、年後半から回復を始めるとの見方は維持しているものの、安定的な成長軌道にまで回復するには5～6年要するとの見方がFED内で大勢。



(資料)FRB、各種報道を基に日本総研作成



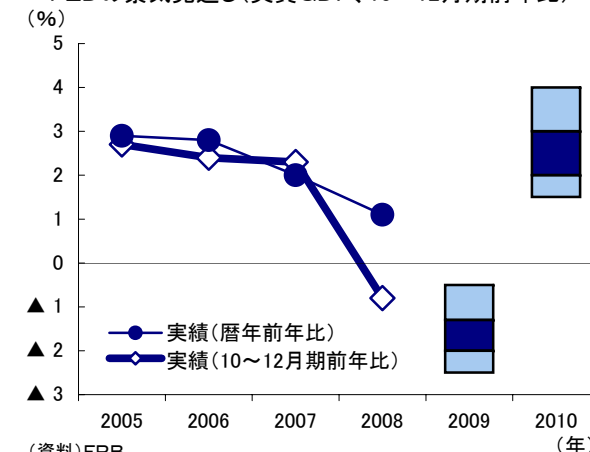
(資料)FRB、各種報道を基に日本総研作成
(注)5月27日時点での集計

FEDの経済見通し(2009年、2010年)				
		(10～12月期の前年比、%)		
		最小	中心レンジ	最大
2009年	実質GDP	今回(4月) ▲2.5	▲2.0～▲1.3	▲0.5
		前回(1月) ▲2.5	▲1.3～▲0.5	0.2
PCEデフレーター	今回	▲0.5	0.6～0.9	1.2
	前回	▲0.5	0.3～1.0	1.5
コアPCEデフレーター	今回	0.7	1.0～1.5	1.6
	前回	0.6	0.9～1.1	1.5
(10～12月期中の平均、%)				
失業率	今回	9.1	9.2～9.6	10.0
	前回	8.0	8.5～8.8	9.2
2010年				
		最小	中心レンジ	最大
2010年	実質GDP	今回(4月) 1.5	2.0～3.0	4.0
		前回(1月) 1.5	2.5～3.3	4.5
PCEデフレーター	今回	0.7	1.0～1.6	2.0
	前回	0.7	1.0～1.5	1.8
コアPCEデフレーター	今回	0.5	0.7～1.3	2.0
	前回	0.4	0.8～1.5	1.7
(10～12月期中の平均、%)				
失業率	今回	8.0	9.0～9.5	9.6
	前回	7.0	8.0～8.3	9.2

(資料)FRB

(注)中心レンジは全員の見通しから上位、下位のそれぞれ3人分を除いて幅で示したもの。

FEDの景気見通し(実質GDP、10～12月期前年比)



(資料)FRB

(注)1. 見通しは囲み部分が予想レンジ、内、濃い部分が中心レンジ
2. 中心レンジは全員の見通しから上位、下位のそれぞれ3人分を除いて幅で示したもの

(株)日本総合研究所 海外経済展望 2009年6月

欧州経済概説（2009年6月）

1. ユーロ圏景気の現状と展望

【景気の現状】

ユーロ圏では、深刻な景気後退が持続。09年1～3月期の実質GDP（速報値）は4四半期連続のマイナス成長となり、落ち込み幅は前期比年率▲9.8%とユーロ圏発足以来最悪。とりわけ、ドイツ、イタリアなど輸出主導型経済の落ち込みが顕著。

【雇用問題はさらに深刻化】

欧州各国の雇用環境は急速に悪化。とりわけ、スペイン、バルト三国、アイルランド、スロバキアでは失業率が10%を超えるなど、雇用問題が深刻に。

3月のユーロ圏の失業率は8.9%と、9ヵ月連続で上昇。実質GDP成長率と失業率との関係を踏まえると、当社見通し通り、実質GDPが09年に前年比▲4.4%、10年に同▲0.4%となった場合、失業率はそれぞれ09年に10.2%、10年に11.0%まで上昇する見通し。一方、08年10月から09年3月までの失業者数の増減をみると、住宅バブル崩壊の下押し圧力が続くスペインに加え、年明け以降はドイツでも失業者数が増加。リーマンショック以降の急速な景気悪化が雇用調整圧力を生み、年明け以降に顕在化した公算大。今後は、労働人口が多く、雇用調整余地も大きいとみられるドイツ、フランスでも雇用悪化が加速する見込み。

2月の英国の失業率（ILOベース：失業給付を受けていない人も含む）は6.9%と、10ヵ月連続で上昇。金融・ビジネスサービスなどのサービス業を中心に雇用情勢は急速に悪化。過去の実質GDP成長率との関係を踏まえると、09年後半にかけての雇用調整圧力は144万人に達する可能性。

こうした雇用環境の悪化は、欧州各国の個人消費を大きく下押しする公算大。

【景気の見通し】

先行きのユーロ圏景気は、①世界景気低迷に伴う輸出の減少、②雇用情勢の急速な悪化を背景とする個人消費低迷、③内外需の落ち込みと信用収縮を背景とする設備投資の急速な縮小などから、当面景気後退局面が持続。域内各国政府は景気刺激策を打ち出してはいるものの、少なくとも年内はマイナス成長が続く見通し。

インフレ率は、前年比でみたエネルギー価格が物価下押しに作用し続けるなか、6月以降はマイナス圏での推移が持続する見通し。

2. ユーロ圏金利見通し

【金融政策】

ECBは、現行金利水準のもとで、信用緩和へと政策の軸足を移行。当面、既往の金融緩和策の効果を見極める姿勢。

【長期金利】

独10年債利回りは、景気刺激策などに伴う財政支出拡大を背景に上昇傾向をたどる見通し。もっとも、景気低迷や金融不安の残存が金利低下に作用するとみられ、4.0%を大幅に上回るには至らない見通し。

3. 英国景気の現状と展望

【景気の現状】

英国では、深刻な景気後退が持続。09年1～3月期の実質GDPは前期比年率▲7.4%と、統計開始以来最大のマイナス。需要項目別にみると、とりわけ個人消費と設備投資の減少が全体を大きく下押し。

【景気の見通し】

先行きの英国景気は、長期にわたり大幅なマイナス成長が続く見通し。①家計のバランスシート調整、雇用悪化を背景とした個人消費の低迷、②主力産業である金融業の低迷、③内外需の落ち込みによる設備投資の大幅な縮小が下押し材料に。

インフレ率は、年後半以降前年比マイナスに転じる見通し。エネルギー価格の下落が物価下押しに寄与し始めているほか、ユーロ圏と比較して柔軟な労働市場や企業の価格設定行動を映じて、景気悪化に伴うコアインフレ率の低下が一段と加速するとみられるため。

4. 英国金利見通し

【金融政策】

BOEは、量的緩和政策を当面継続する見通し。今後も①国債の買い入れ増額、②社債・CPなど買い入れ対象資産の拡大により、金融の円滑化を目指す見込み。

【長期金利】

英10年債利回りは、BOEによる国債買い入れが、短期的には金利低下に作用する可能性があるものの、景気刺激策などに伴う財政悪化を主因に、年央以降も金利上昇傾向が持続する見通し。

ユーロ圏経済：深刻な景気後退が持続

ユーロ圏では、深刻な景気後退が持続。09年1～3月期の実質GDP（速報値）は4四半期連続のマイナス成長となり、落ち込み幅は前期比年率▲9.8%とユーロ圏発足以来最悪。とりわけ、ドイツ、イタリアなど輸出主導型経済の落ち込みが顕著。

<企業部門>

景況感には底入れの兆し。これまでPMI総合指数を下押ししてきた製造業も2ヵ月連続で上昇しており、景気悪化ペースの鈍化を示唆。

もともと、企業活動は引き続き低調。ドイツの輸出は09年入り以降、前年比▲2割前後の減少が持続。OECD景気先行指数のドイツ輸出に対する3ヵ月程度の先行性を勘案すると、当面輸出の急回復は見込めず。

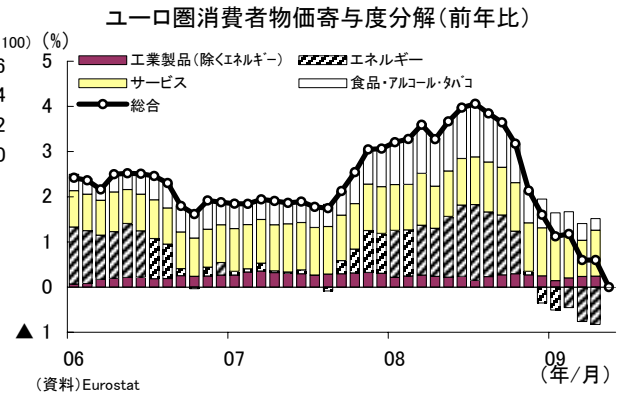
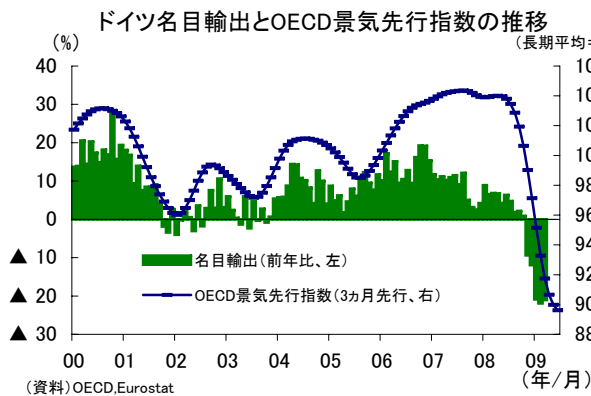
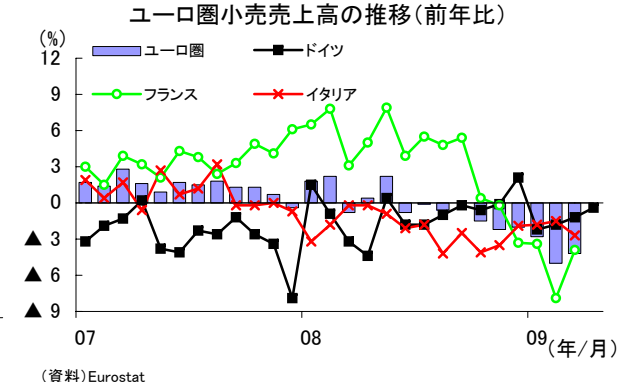
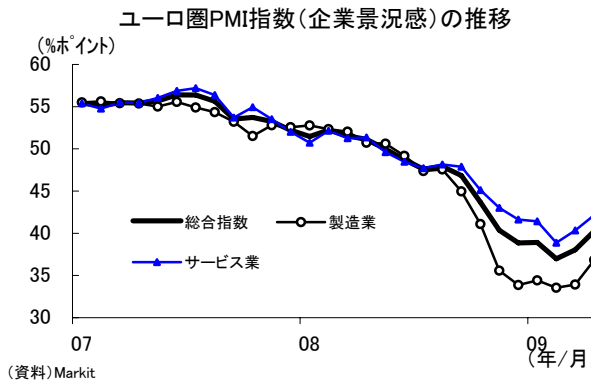
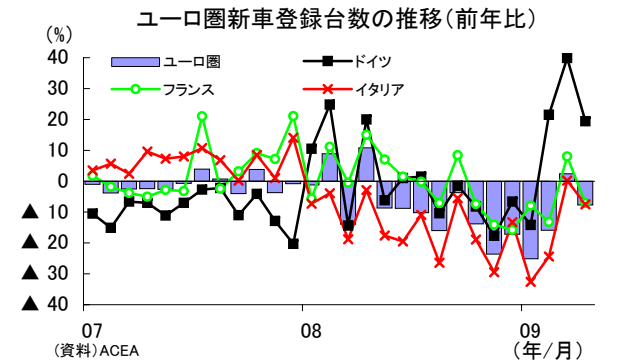
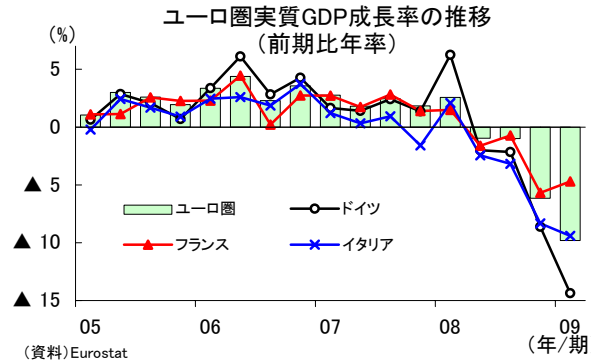
<家計部門>

3月の新車登録台数は、各国政府による販売支援策により前年比+2.4%となったものの、4月には同▲7.7%と再びマイナスとなり、効果は早くも息切れの様相。

また、新車登録台数が増加する一方で、小売売上高は低迷が続いており、自動車の拡販が、その他の消費を抑制している可能性。

景気低迷の長期化を受け、今後も失業率の大幅上昇が予想されるなか、景気対策効果を勘案しても、個人消費の本格的な回復は当面期待薄。

5月の消費者物価指数（速報値）は前年比+0.0%と、1996年の統計開始以来最低の伸び。エネルギー価格の下落に加え、エネルギー以外でも景気悪化に伴い、伸びが鈍化。



(株)日本総合研究所 海外経済展望 2009年6月

英国経済：深刻な景気後退が持続

英国では、深刻な景気後退が持続。09年1～3月期の実質GDPは前期比年率▲7.4%と、統計開始以来最大のマイナス。需要項目別にみると、とりわけ個人消費と設備投資の減少が全体を大きく下押し。

<企業部門>

景況感には底入れの兆し。4月のPMI総合指数は2ヵ月連続で上昇。在庫調整の進展などから、製造業の下押し圧力が弱まりつつある模様。

もともと、企業活動はサービス業を中心に引き続き低調。とりわけ金融・ビジネスサービスが大きくマイナスに寄与。

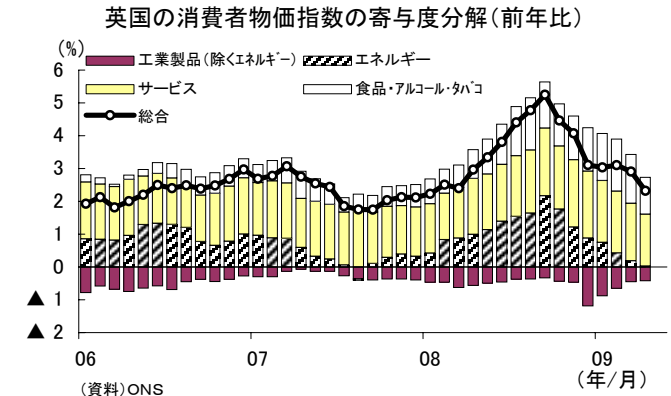
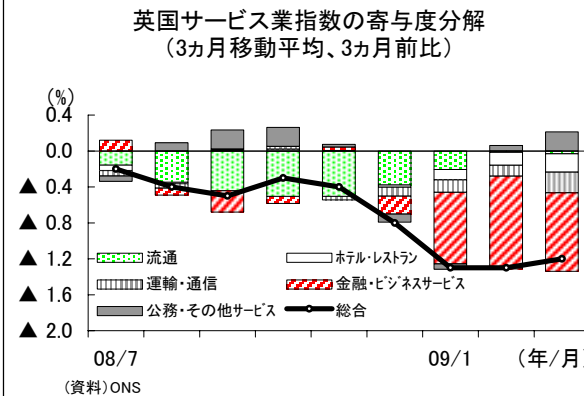
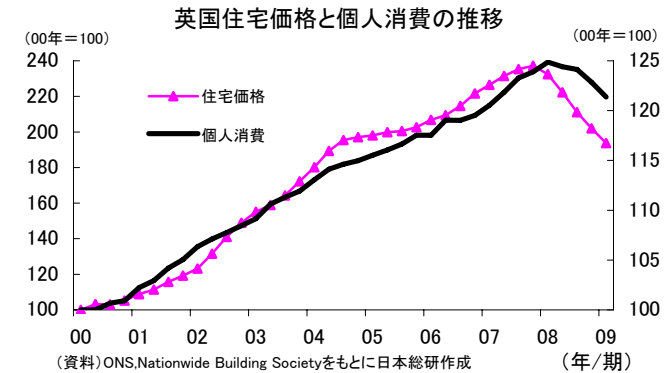
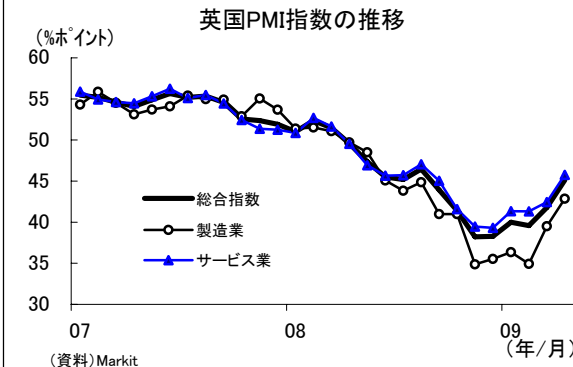
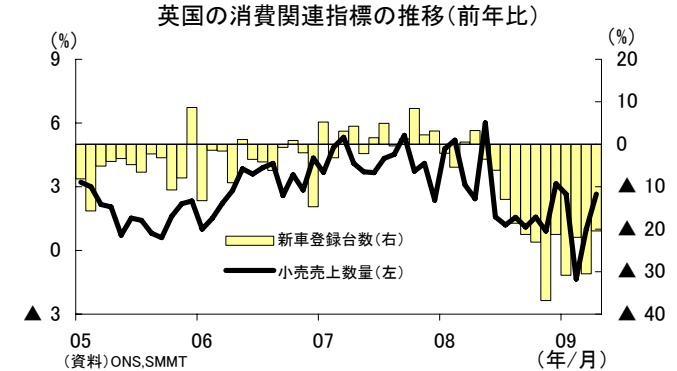
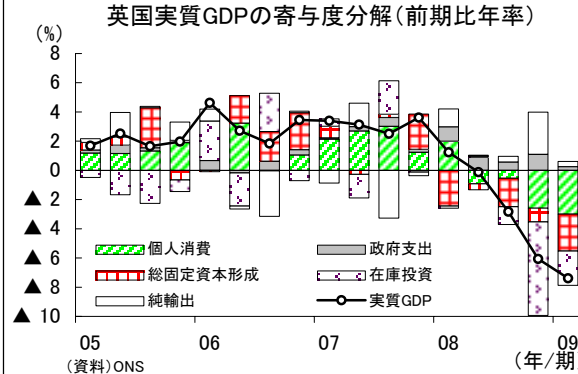
金融不安は落ち着きつつあるものの、実体経済悪化に伴う企業倒産の増加などが下押し圧力となり、当面、サービス業は金融業を中心に低調に推移する公算大。

<家計部門>

所得・雇用環境の悪化を背景に、消費は引き続き低迷。小売売上高の低迷が続いているほか、新車登録台数は、減少ペースは鈍化したものの、前年割れが持続。

2007年にかけての好況期は、住宅価格上昇が個人消費を牽引してきただけに、当面は住宅価格の下落が続くなか、個人消費は一段と落ち込む可能性。

4月のCPIは、前年比+2.3%に騰勢鈍化。今後は景気悪化に伴うコアインフレ率の低下が進むとみられるため、さらに伸びが鈍化する公算大。



(株)日本総合研究所 海外経済展望 2009年6月

雇用問題はさらに深刻化

欧州各国の雇用環境は急速に悪化。とりわけ、スペイン、バルト三国、アイルランド、スロバキアでは失業率が10%を超えるなど、雇用問題が深刻に。

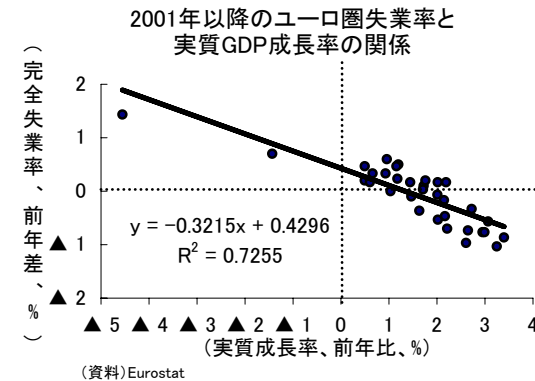
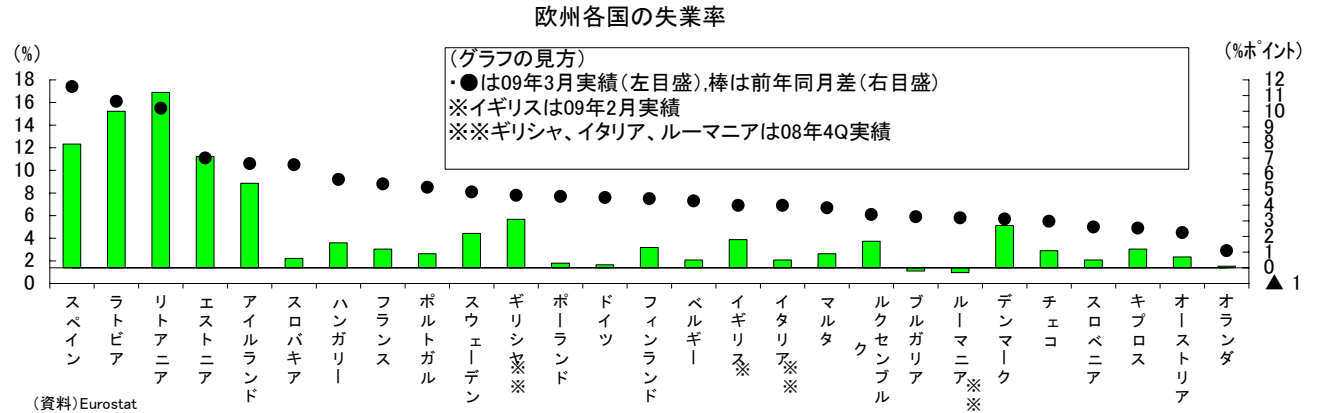
<ユーロ圏>

3月のユーロ圏の失業率は8.9%と、9ヵ月連続で上昇。実質GDP成長率と失業率との関係を踏まえると、当社見通し通り、実質GDPが09年に前年比▲4.4%、10年に同▲0.4%となった場合、失業率はそれぞれ09年に10.2%、10年に11.0%まで上昇する見通し。一方、08年10月から09年3月までの失業者数の増減をみると、住宅バブル崩壊の下押し圧力が続くスペインに加え、年明け以降はドイツでも失業者数が増加。リーマンショック以降の急速な景気悪化が雇用調整圧力を生み、年明け以降に顕在化した公算大。今後は、労働人口が多く、雇用調整余地も大きいとみられるドイツ、フランスでも雇用悪化が加速する見込み。

<英国>

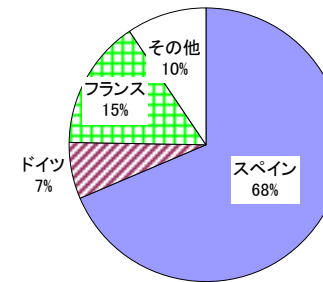
2月の英国の失業率（ILOベース：失業給付を受けていない人も含む）は6.9%と、10ヵ月連続で上昇。金融・ビジネスサービスなどのサービス業を中心に雇用情勢は急速に悪化。過去の実質GDP成長率との関係を踏まえると、09年後半にかけての雇用調整圧力は144万人に達する可能性。

こうした雇用環境の悪化は、欧州各国の個人消費を大きく下押しする公算大。

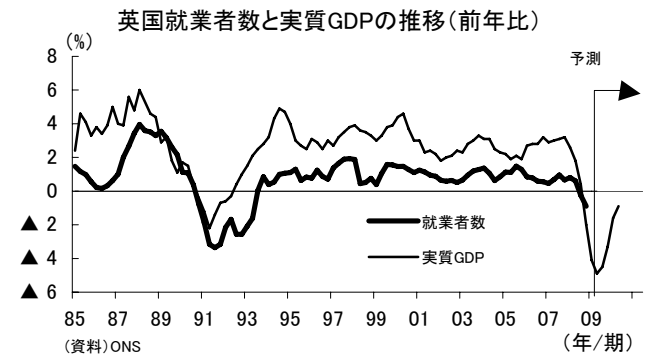
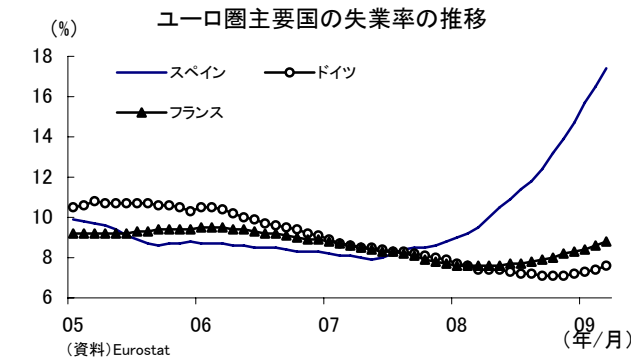
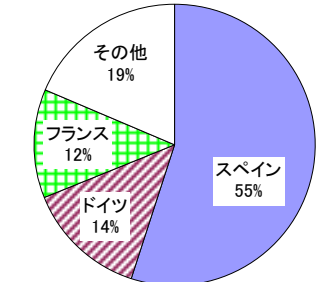


ユーロ圏主要国別 失業者数の増加分に占める割合

【2008年10月～12月】



【2009年1月～3月】



(株)日本総合研究所 海外経済展望 2009年6月

欧州経済見通し：マイナス成長が長期化

先行きのユーロ圏景気は、①世界景気低迷に伴う輸出の減少、②雇用情勢の急速な悪化を背景とする個人消費低迷、③内外需の落ち込みと信用収縮を背景とする設備投資の急速な縮小などから、当面景気後退局面が持続。域内各国政府は景気刺激策を打ち出しているものの、少なくとも年内はマイナス成長が続く見通し。

インフレ率は、前年比でみたエネルギー価格が物価下押しに作用し続けるなか、6月にも前年比マイナスになる見込み。その後、エネルギー価格の下押し影響は減衰するものの、急激な景気悪化を背景にコアインフレ率は低下が続くとみられ、マイナス圏での推移が持続する見通し。

先行きの英国景気は、長期にわたり大幅なマイナス成長が続く見通し。①家計のバランスシート調整、雇用悪化を背景とした個人消費の低迷、②主力産業である金融業の低迷、③内外需の落ち込みによる設備投資の大幅な縮小が下押し材料に。

インフレ率は、年後半以降前年比マイナスに転じる見通し。エネルギー価格の下落が物価下押しに寄与し始めているほか、ユーロ圏と比較して柔軟な労働市場や企業の価格設定行動を映じて、景気悪化に伴うコアインフレ率の低下が一段と加速するとみられるため。

< 欧州各国経済・物価見通し >

(前年比、実質GDPの四半期は季節調整後前期比年率、%)

				2008年	2009年				2009年	2010年	
		7～9	10～12	(実績)	1～3	4～6	7～9	10～12	(予測)	1～3	4～6
ユーロ圏	実質GDP	▲1.0	▲6.2	0.8	▲9.8	▲2.1	▲1.0	▲0.4	▲4.4	▲1.0	▲0.7
	消費者物価指数	3.8	2.3	3.3	1.0	0.2	▲0.2	▲0.1	0.2	0.2	1.0
	ドイツ	▲2.1	▲8.6	1.3	▲14.4	▲1.4	▲0.4	0.1	▲6.1	▲0.8	▲0.2
	消費者物価指数	3.1	1.6	2.8	0.8	0.2	0.1	0.4	0.4	0.8	0.8
フランス	実質GDP	▲0.7	▲5.7	0.4	▲4.7	▲1.7	▲0.4	▲0.5	▲2.9	▲0.5	▲0.1
	消費者物価指数	3.3	1.8	3.2	0.6	0.1	0.1	0.8	0.4	0.8	1.0
英国	実質GDP	▲2.8	▲6.1	0.7	▲7.4	▲3.3	▲1.0	▲1.4	▲4.2	▲0.7	▲0.3
	消費者物価指数	4.9	3.9	3.6	3.0	1.5	▲0.4	▲0.1	1.0	0.0	0.1

(資料)Eurostat, 各国統計局

→ 予測

(株)日本総合研究所 海外経済展望 2009年6月

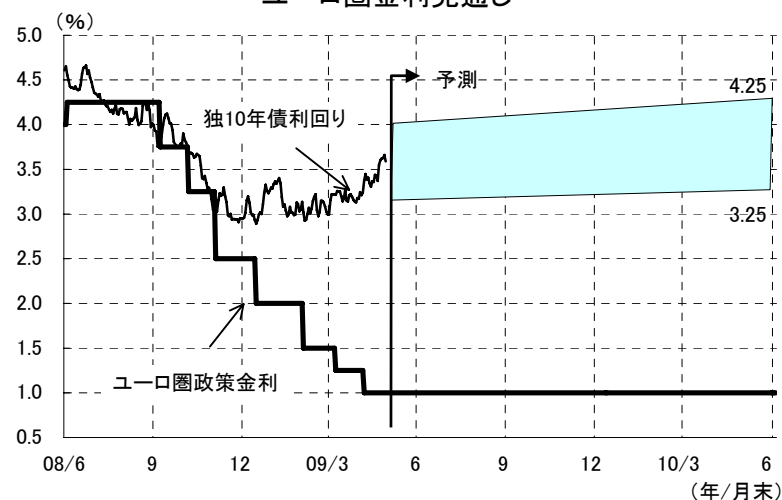
欧州金利見通し：ユーロ圏、英国とも量的緩和を継続

ECBは、現行金利水準のもとで、信用緩和へと政策の軸足を移行。当面、既往の金融緩和策の効果を見極める姿勢。独10年債利回りは、景気刺激策などに伴う財政支出拡大を背景に上昇傾向をたどる見通し。もっとも、景気低迷や金融不安の残存が金利低下に作用するとみられ、4.0%を大幅に上回るには至らない見通し。

BOEは、量的緩和政策を当面継続する見通し。今後も①国債の買い入れ増額、②社債・CPなど買い入れ対象資産の拡大により、金融の円滑化を目指す見込み。

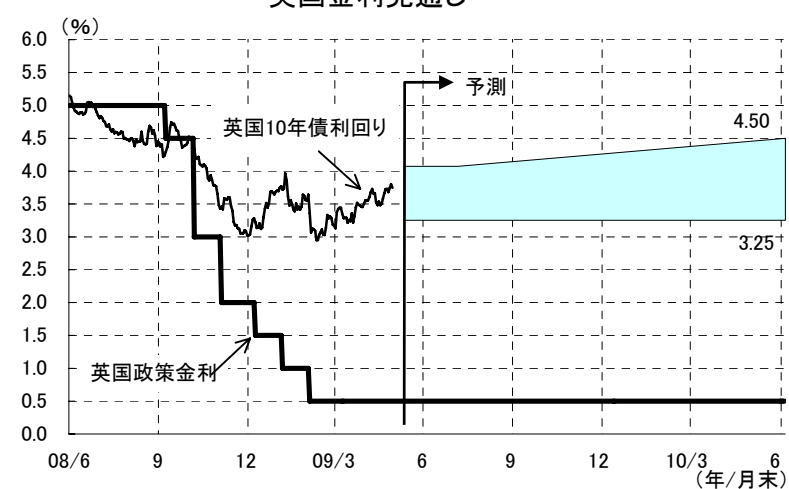
英10年債利回りは、BOEによる国債買い入れが、短期的には金利低下に作用する可能性があるものの、景気刺激策などに伴う財政悪化を主因に、年央以降も金利上昇傾向が持続する見通し。

ユーロ圏金利見通し



(資料) Bloomberg L.P.

英国金利見通し

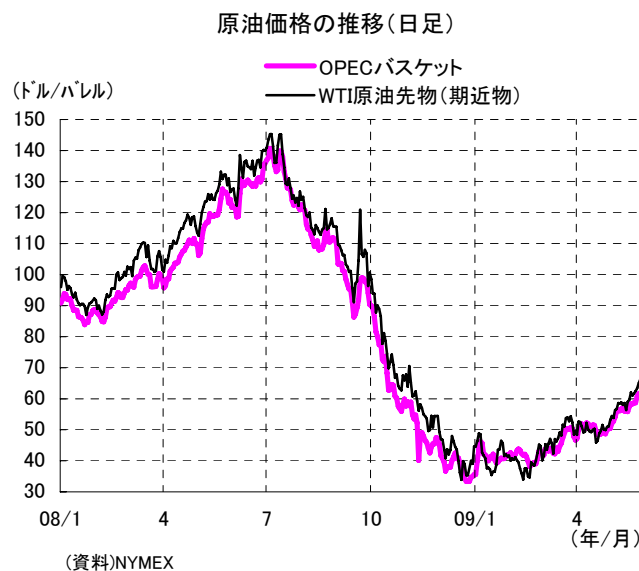


(資料) Bloomberg L.P.

(株)日本総合研究所 海外経済展望 2009年6月

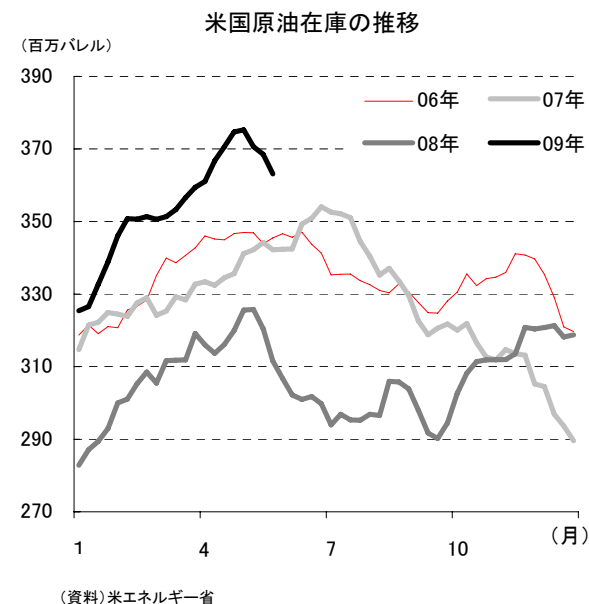
(参考) 原油価格を巡る動きー 1

WTI先物は、景気回復への期待感から続伸



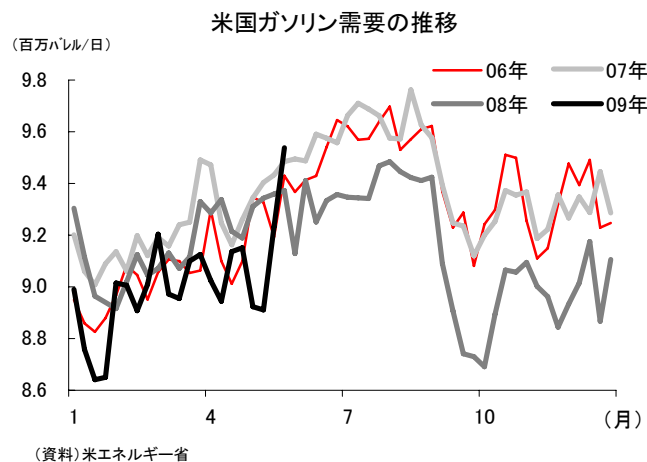
最近の原油市場を巡る動き	
5/6	米エネルギー省、原油在庫が19年ぶりの高水準に
7	米国、ストレステスト結果公表
8	米雇用統計、失業率8.9%に上昇
12	中国、4月の原油輸入量は前年比+14%
13	米国、4月の小売売上高は前月比▲0.4%と2ヶ月連続減
14	IEA、4-6月期の原油処理量の見通しを日量平均7,110万バレルに下方修正。石油需要は1981年以来で最大の減少
15	米国、4月の鉱工業生産指数は前月比▲0.5%と、6ヶ月連続の下落
18	米国、スノコ社の製油所で火災発生
19	米国、フロント・ヒルズ・リソーシズの製油所で火災発生
20	米国エネルギー省、原油在庫は前週比▲211万バレル
21	FOMC、米経済予測を下方修正
27	サウジアラビア石油相、「石油価格は09年内に1バレル=75ドルに達する可能性」
28	OPEC、臨時総会で生産目標措置を決定
29	OPEC議長、「原油価格は1バレル=70-75ドルが適切」

(資料)Bloombergなど各種報道



<5月の原油市況>

5月の原油相場は、景気回復への期待感やドル安の進行を受け、続伸。29日の終値は66ドルを超え、08年11月以来、半年ぶりの水準に。
月間の上昇率は+27%と、過去10年間で最大を記録した。



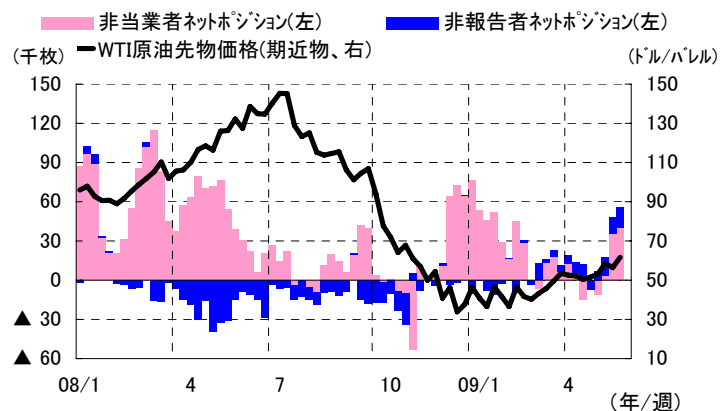
<需給動向に一服感>

原油在庫は5月第二週から減少に転じ、在庫水準は引き続き高水準ながら、増勢は一服。

5月から9月にかけては、米国のドライブシーズンとなるため、例年ガソリン需要は増加傾向が鮮明。もともと、不況下では需要の伸びも小幅にとどまるとみられ、09年の増加ペースは例年よりも緩やかになる公算大。

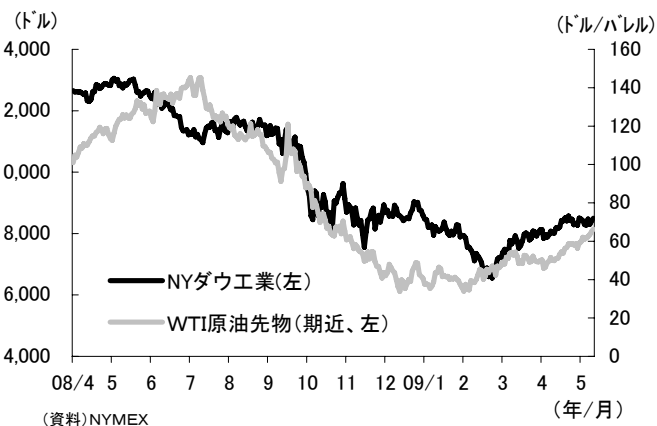
(参考) 原油価格を巡る動き－２

投機筋の原油先物ポジション



(注1)建玉単位の「1枚」は「1000バレル」。
(注2)「非当業者」とは、「当業者」(所謂「実需筋」)に分類されない「ファンド」筋が主体。「非報告者」は持ち高報告義務を課されていない「一般投機筋」。
(資料)Bloomberg L.P., CFTC

WTI原油価格と株式市場（日足）

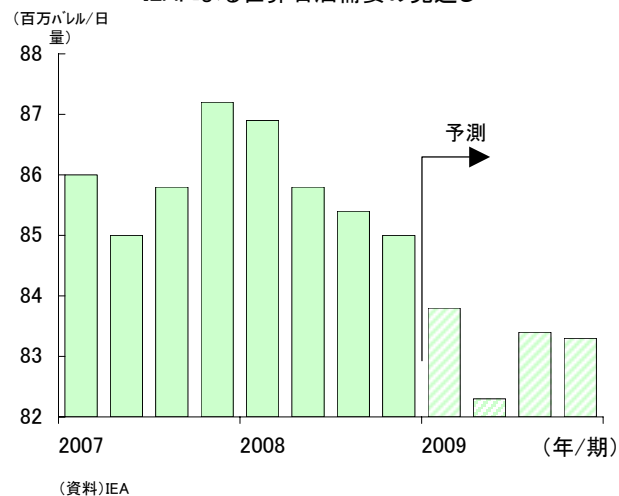


<投機筋・投機資金の動向>

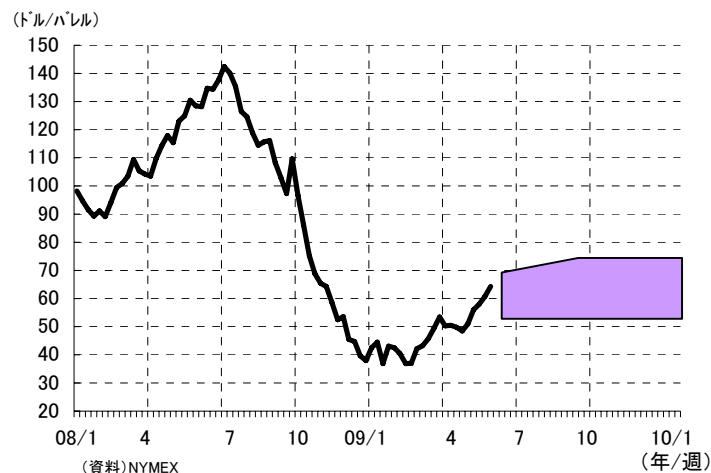
ファンド筋の買いポジションは、4月後半には解消したものの、5月には再び増加。景気回復への期待感からの株高、それに伴う投機筋のリスク許容度改善が影響している模様。

もっとも、米国では経済の本格回復への道筋が依然として不透明ななか、株価の持続的な回復には至らない見通し。加えて、需給面ではIEAの原油需要見通しの下方修正が続いており、持続的な原油高には至らない公算。

IEAによる世界石油需要の見通し



WTI原油先物価格見通し（期近物、週平均）



<原油価格見通し>

WTI先物は、当面上昇見通し。①景気回復への期待感、②ドル安、③原油在庫減を受けた需給改善期待などが、押し上げ要因として作用する見込み。

もっとも、本格的な世界景気の回復および持続的な株高による投資マネーのリスク許容度の改善余地は限定的とみられることから、原油価格の持続的な上昇には至らない見通し。

(株)日本総合研究所 海外経済展望 2009年6月

内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債	プライムレート		為替相場		日経平均	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担0/N (%)	3カ月 (%)	6カ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur	株価 (円)	F F 0/N	1-03カ月	10年国債	N Y ダウ 工業株	1-03カ月	10年国債
05/10	0.10	0.001	0.09	0.11	0.34	0.91	1.61	1.53	1.375	1.80	114.82	138.01	13392.79	3.76	4.16	4.45	10324.31	2.20	3.26
05/11	0.10	0.001	0.09	0.11	0.36	0.93	1.61	1.51	1.375	1.90	118.41	139.54	14368.05	4.00	4.33	4.53	10695.25	2.36	3.48
05/12	0.10	0.001	0.09	0.11	0.34	0.95	1.64	1.53	1.375	1.85	118.64	140.68	15650.83	4.16	4.47	4.46	10827.79	2.47	3.37
06/1	0.10	0.001	0.10	0.11	0.35	0.94	1.59	1.47	1.375	1.80	115.45	139.99	14368.05	4.30	4.59	4.40	10872.48	2.51	3.34
06/2	0.10	0.001	0.10	0.11	0.49	1.15	1.75	1.56	1.375	2.00	117.89	140.77	16187.64	4.49	4.75	4.56	10971.19	2.60	3.49
06/3	0.10	0.002	0.12	0.14	0.68	1.37	1.91	1.69	1.375	2.10	117.31	140.98	16311.54	4.59	4.91	4.72	11144.45	2.72	3.66
06/4	0.10	0.002	0.13	0.19	0.81	1.58	2.14	1.90	1.375	2.45	117.11	143.56	17232.97	4.77	5.05	4.98	11234.68	2.79	3.92
06/5	0.10	0.020	0.19	0.27	0.89	1.60	2.15	1.91	1.375	2.50	111.51	142.54	16322.24	4.93	5.18	5.10	11333.88	2.89	3.98
06/6	0.10	0.036	0.31	0.40	0.88	1.50	2.06	1.86	1.375	2.45	114.53	145.14	14990.31	5.00	5.38	5.10	10997.97	2.99	3.99
06/7	0.40	0.155	0.40	0.48	0.94	1.57	2.12	1.90	1.375	2.65	115.67	146.72	15147.55	5.25	5.49	5.08	11032.48	3.10	4.02
06/8	0.40	0.250	0.43	0.51	0.89	1.48	2.02	1.81	1.625	2.50	115.88	148.47	15786.78	5.25	5.40	4.87	11257.35	3.23	3.89
06/9	0.40	0.261	0.43	0.50	0.77	1.27	1.84	1.67	1.625	2.30	117.01	149.11	15934.09	5.25	5.38	4.71	11533.60	3.34	3.76
06/10	0.40	0.254	0.44	0.52	0.85	1.37	1.92	1.76	1.625	2.35	118.66	149.66	16532.70	5.25	5.36	4.72	11963.12	3.50	3.80
06/11	0.40	0.257	0.47	0.56	0.91	1.36	1.87	1.69	1.625	2.30	117.35	151.13	16101.07	5.25	5.36	4.59	12185.15	3.60	3.73
06/12	0.40	0.255	0.53	0.60	0.92	1.34	1.77	1.63	1.625	2.35	117.30	154.92	16790.21	5.24	5.35	4.56	12377.62	3.60	3.73
07/1	0.40	0.267	0.55	0.61	0.91	1.37	1.84	1.70	1.625	2.40	120.58	156.56	17286.32	5.26	5.35	4.75	12512.89	3.75	4.03
07/2	0.75	0.357	0.57	0.63	0.91	1.36	1.84	1.70	1.625	2.30	120.45	157.60	17741.23	5.26	5.35	4.72	12631.48	3.82	4.05
07/3	0.75	0.509	0.67	0.70	0.93	1.31	1.76	1.61	1.875	2.20	117.28	155.29	17128.37	5.26	5.34	4.56	12268.53	3.89	3.95
07/4	0.75	0.511	0.65	0.70	0.97	1.37	1.82	1.67	1.875	2.25	118.83	160.36	17469.81	5.24	5.34	4.68	12754.80	3.98	4.16
07/5	0.75	0.521	0.65	0.72	1.04	1.41	1.84	1.67	1.875	2.25	120.73	163.19	17595.14	5.25	5.34	4.74	13407.76	4.07	4.29
07/6	0.75	0.507	0.69	0.77	1.19	1.66	2.08	1.88	1.875	2.45	122.62	164.48	17942.18	5.25	5.35	5.10	13480.21	4.15	4.58
07/7	0.75	0.499	0.75	0.83	1.21	1.66	2.10	1.88	1.875	2.55	121.59	166.68	17974.77	5.26	5.35	4.99	13677.89	4.22	4.52
07/8	0.75	0.485	0.80	0.87	1.11	1.43	1.87	1.66	1.875	2.55	116.72	158.98	16460.95	5.04	5.52	4.68	13239.71	4.55	4.30
07/9	0.75	0.510	0.84	0.90	1.08	1.36	1.79	1.60	1.875	2.25	115.02	159.64	16235.39	4.97	5.53	4.51	13557.69	4.74	4.24
07/10	0.75	0.506	0.84	0.91	1.10	1.37	1.83	1.65	1.875	2.45	115.74	164.74	16903.36	4.75	5.15	4.51	13901.28	4.68	4.29
07/11	0.75	0.500	0.85	0.91	1.02	1.27	1.71	1.51	1.875	2.20	111.21	163.28	15543.76	4.50	5.02	4.14	13200.58	4.64	4.10
07/12	0.75	0.497	0.86	0.91	0.97	1.24	1.70	1.53	1.875	2.30	112.34	163.50	15545.07	4.22	5.17	4.09	13406.99	4.85	4.24
08/1	0.75	0.502	0.85	0.89	0.83	1.09	1.60	1.42	1.875	2.10	107.66	158.14	13731.31	3.93	3.93	3.72	12538.12	4.48	4.05
08/2	0.75	0.504	0.85	0.88	0.89	0.96	1.64	1.44	1.875	2.15	107.16	158.18	13547.84	2.97	3.12	3.73	12419.57	4.36	3.96
08/3	0.75	0.511	0.86	0.89	0.92	1.08	1.51	1.30	1.875	2.10	100.79	156.28	12602.93	2.60	2.85	3.48	12193.88	4.60	3.81
08/4	0.75	0.506	0.84	0.88	0.98	1.16	1.59	1.41	1.875	2.10	102.49	161.53	13357.70	2.26	3.02	3.64	12656.63	4.78	4.05
08/5	0.75	0.505	0.84	0.88	1.18	1.47	1.87	1.67	1.875	2.40	104.14	162.05	13995.33	1.99	2.84	3.87	12812.48	4.86	4.20
08/6	0.75	0.509	0.84	0.89	1.30	1.62	1.99	1.75	1.875	2.45	106.90	166.23	14084.60	2.00	2.95	4.08	12056.67	4.94	4.55
08/7	0.75	0.503	0.85	0.90	1.18	1.44	1.82	1.60	1.875	2.40	106.81	168.35	13168.91	2.02	3.00	3.97	11322.38	4.96	4.50
08/8	0.75	0.504	0.85	0.89	1.01	1.26	1.66	1.45	1.875	2.25	109.28	163.75	12989.35	1.99	3.00	3.88	11530.75	4.96	4.22
08/9	0.75	0.495	0.85	0.90	1.05	1.31	1.69	1.48	1.875	2.30	106.75	153.25	12123.53	1.86	3.95	3.68	11114.08	5.02	4.10
08/10	0.50	0.487	0.88	0.91	1.02	1.27	1.55	1.50	1.875	2.35	100.33	133.49	9117.03	1.01	5.31	3.78	9176.71	5.11	3.90
08/11	0.50	0.301	0.82	0.86	0.89	1.13	1.48	1.46	1.675	2.40	96.81	123.25	8531.45	0.39	3.11	3.46	8614.55	4.23	3.57
08/12	0.30	0.211	0.86	0.88	0.85	1.02	1.32	1.31	1.675	2.40	91.28	122.79	8463.62	0.17	2.47	2.40	8595.56	3.29	3.06
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06
09/4	0.30	0.104	0.62	0.72	0.75	0.99	1.39	1.44	1.475	2.30	99.00	130.50	8767.96	0.15	1.49	2.90	7992.12	1.42	3.19
09/5	0.30	0.102	0.58	0.70	0.69	0.94	1.36	1.44	1.475	2.10	96.30	131.92	9304.43	0.17	1.23	3.30	8398.37	1.28	3.42

(注) 公定歩合とプライムレートは月末値。

内外市場動向（2009年5月）

	ドル金利						円金利						マルク金利		為替相場						株式相場			石油 (WTI) 先物 (\$/B)	金 (COMEX) 先物 (\$/TO)	CRB 商品 指数					
	Fed Fund 0/N		ユーロ・ ドル 3ヵ月	ユーロ・\$ 先物 価格	10年 国債 金利	30年 国債 金利	T-Bond 先物 価格	無担 コール 0/N	CD 3M	ユーロ・ 3M	ユーロ・\ 先物 価格	円・円 スワップ 5 Y	10年 国債 金利	円債 先物 価格	ユーロ・ マルク 3ヵ月	10年 国債 金利	円/ドル 東京 17:00	対ドル(NY 終値)				対円(NY 終値)					日経平均 225種 (円)	NY ダウ 工業株 (ドル)	NASDAQ (ドル)		
	終値	実効																円	EUR	SFr	STG	EUR	SFr							STG	
2009年				(Sep)			(Jun)				(Jun)			(Jun)													(Jun)	(Jun)			
4/27	0.13	0.17	1.40	98.97	2.91	3.83	125.01	0.108	0.58	0.61	99.45	0.95	1.45	136.67	1.39	3.16	96.72	96.66	1.3019	1.1567	1.4623	125.75	83.62	141.28	8726.34	8025.00	1679.41	50.14	908.2	218.19	
28	0.19	0.16	1.40	98.94	3.01	3.95	123.26	0.109	0.58	0.60	99.45	0.91	1.41	137.30	1.38	3.14	95.87	96.41	1.3146	1.1434	1.4628	126.68	84.31	141.05	8493.77	8016.95	1673.81	49.92	893.6	217.22	
29	0.19	0.18	1.40	98.99	3.11	4.03	122.24	close	close	close	close	close	close	close	1.37	3.13	close	97.51	1.3266	1.1360	1.4777	129.41	85.82	143.98	close	8185.73	1711.94	50.97	900.5	221.17	
30	0.21	0.20	1.40	99.01	3.12	4.03	122.18	0.113	0.58	0.60	99.46	0.92	1.43	136.99	1.36	3.18	97.67	98.57	1.3227	1.1412	1.4787	130.35	86.38	145.82	8828.26	8168.12	1717.30	51.12	891.2	222.39	
5/1	0.25	0.22	1.40	98.98	3.15	4.07	122.05	0.102	0.58	0.60	99.46	0.91	1.40	137.47	1.36	3.17	99.27	99.11	1.3266	1.1357	1.4920	131.48	87.27	147.88	8977.37	8212.41	1719.20	53.20	888.2	229.04	
2																															
3																															
4	0.28	0.22	1.40	99.00	3.15	4.05	122.17	close	close	close	close	close	close	close	1.35	3.24	close	98.93	1.3405	1.1263	1.5030	132.43	87.71	148.70	close	8426.74	1763.56	54.47	902.2	232.38	
5	0.22	0.20	1.40	99.03	3.16	4.07	122.18	close	close	close	close	close	close	close	1.34	3.21	close	98.91	1.3323	1.1330	1.5070	131.72	87.25	149.11	close	8410.65	1754.12	53.84	904.3	231.84	
6	0.19	0.18	1.40	99.07	3.16	4.09	122.12	close	close	close	close	close	close	close	1.33	3.24	close	98.44	1.3319	1.1333	1.5124	131.08	86.86	148.84	close	8512.28	1759.10	56.34	911.0	237.48	
7	0.25	0.18	1.35	99.10	3.33	4.31	120.14	0.109	0.58	0.59	99.46	0.93	1.41	137.31	1.32	3.38	98.92	99.27	1.3399	1.1297	1.5035	132.91	87.81	149.23	9385.70	8409.85	1716.24	56.71	915.5	239.53	
8	0.16	0.17	1.35	99.12	3.29	4.27	120.11	0.104	0.58	0.59	99.46	0.97	1.45	136.76	1.31	3.45	99.39	98.58	1.3647	1.1060	1.5247	134.52	89.15	150.31	9432.83	8574.65	1739.00	58.63	914.9	242.23	
9																															
10																															
11	0.15	0.17	1.35	99.15	3.17	4.18	121.24	0.104	0.57	0.59	99.46	0.98	1.46	136.70	1.30	3.39	98.28	97.56	1.3576	1.1100	1.5117	132.42	87.84	147.50	9451.98	8418.77	1731.24	58.50	913.5	242.60	
12	0.15	0.16	1.35	99.16	3.17	4.16	122.01	0.096	0.57	0.59	99.46	0.96	1.45	136.74	1.29	3.41	97.64	96.44	1.3644	1.1059	1.5274	131.58	87.20	147.32	9298.61	8469.11	1715.92	58.85	923.9	243.58	
13	0.17	0.16	1.25	99.19	3.12	4.10	122.30	0.104	0.56	0.59	99.45	0.96	1.45	136.50	1.27	3.34	96.41	95.42	1.3599	1.1074	1.5154	129.75	86.15	144.63	9340.49	8284.89	1664.19	58.02	925.9	240.82	
14	0.15	0.16	1.25	99.19	3.09	4.05	123.04	0.099	0.56	0.59	99.45	0.93	1.43	136.94	1.26	3.31	95.55	95.88	1.3634	1.1048	1.5224	130.88	86.83	146.19	9093.73	8331.32	1689.21	58.62	928.4	241.79	
15	0.18		1.25	99.22	3.13	4.08	122.30	0.100	0.56	0.59	99.45	0.93	1.43	137.04	1.25	3.37	95.28	95.21	1.3496	1.1211	1.5164	128.49	84.93	144.38	9265.02	8268.64	1680.14	56.34	931.3	236.24	
16																															
17																												(Jul)			
18	0.19	0.16	1.25	99.25	3.23	4.20	121.25	0.101	0.55	0.58	99.45	0.91	1.41	137.31	1.24	3.36	95.39	96.25	1.3557	1.1141	1.5346	130.48	86.35	147.68	9038.69	8504.08	1732.36	59.03	921.7	241.16	
19	0.13	0.15	1.25	99.30	3.24	4.21	121.22	0.100	0.55	0.58	99.46	0.92	1.42	137.17	1.23	3.44	96.68	96.02	1.3625	1.1097	1.5474	130.88	86.56	148.59	9290.29	8474.85	1734.54	59.65	926.7	241.45	
20	0.16	0.14	1.25	99.36	3.19	4.14	122.15	0.104	0.55	0.58	99.46	0.92	1.42	137.18	1.25	3.43	95.99	94.86	1.3771	1.1009	1.5735	130.62	86.19	149.36	9344.64	8422.04	1727.84	62.04	937.4	244.84	
21	0.19	0.17	1.25	99.30	3.36	4.31	120.11	0.100	0.55	0.58	99.46	0.92	1.43	137.01	1.25	3.37	94.77	94.48	1.3894	1.0935	1.5848	131.22	86.38	149.70	9264.15	8292.13	1695.25	61.05	951.2	242.36	
22	0.16	0.17	0.50	99.25	3.45	4.38	119.10	0.105	0.55	0.58	99.45	0.93	1.43	136.89	1.26	3.55	94.25	94.78	1.3994	1.0849	1.5936	132.64	87.37	151.04	9225.81	8277.32	1692.01	61.67	958.9	244.10	
23																															
24																															
25	close	close	close	close	3.45	4.38	close	0.106	0.55	0.58	99.45	0.94	1.45	136.73	1.27	3.60	94.99	94.85	1.4009	1.0832	1.5920	132.90	87.59	150.99	9347.00	close	close	close	close	close	close
26	0.18	0.18	1.25	99.21	3.55	4.49	118.21	0.104	0.54	0.57	99.45	0.93	1.44	136.82	1.27	3.62	95.22	95.01	1.3991	1.0835	1.5931	132.90	87.68	151.37	9310.81	8473.49	1750.43	62.45	953.3	245.44	
27	0.16	0.17	1.25	99.22	3.74	4.63	116.22	0.101	0.54	0.57	99.45	0.95	1.47	136.36	1.27	3.63	94.66	95.33	1.3836	1.0924	1.5961	131.84	87.19	152.02	9438.77	8300.02	1731.08	63.45	953.3	246.46	
28	0.13	0.17	1.25	99.23	3.61	4.49	117.03	0.099	0.54	0.57	99.45	0.94	1.48	136.36	1.28	3.66	96.61	96.95	1.3937	1.0854	1.5930	135.16	89.36	154.61	9451.39	8403.80	1751.79	65.08	963.2	249.83	
29	0.19	0.19	0.50	99.27	3.46	4.34	117.21	0.099	0.54	0.57	99.45	0.93	1.48	136.41	1.27	3.59	96.45	95.32	1.4154	1.0668	1.6185	134.92	89.35	154.27	9522.50	8500.33	1774.33	66.31	980.3	249.83	
30							(Sep)																						(Aug)		
31																															
6/1	0.20		1.25	99.22	3.67	4.53	114.18	0.102	0.54	0.57	99.45	0.91	1.49	136.51	1.26	3.67	94.76	96.58	1.4166	1.0700	1.6446	136.74	90.24	158.71	9677.75	8721.44	1828.68	68.58	980.0	260.81	
2																															
5月AVG	0.18	0.17	1.23	99.18	3.30	4.24	120.30	0.102	0.55	0.58	99.45	0.94	1.44	136.87	1.28	3.42	96.43	96.55	1.3670	1.1061	1.5458	131.94	87.29	149.22	9304.43	8398.37	1726.08	59.21	930.3	241.15	